



高齢者等の移動支援拡充／都営住宅の空き室活用で学生支援を
佐藤 徹議員
(市議会公明党)

高齢者等の移動支援のさらなる拡充を目指して

質問 ①東京都シルバーパスが利用できるにバスをコンセプトに、市内西側エリアを中心とした路線の運行を検討しては。

②高齢者の外出支援策として所得要件等を設定の上、福祉タクシー利用券配布を検討しては。

市長 ①高齢者等の福祉的な視点での対応が課題の1つで、既存の路線バス等との連携や活用で解決を図るとしている。既存のバスにおける、地域の実情に応じた運行ルート等の見直しに向けた検討を支援していく。

②対象者等の課題がある。今後、市議会公明党として、



実践的な人権教育とは／未来へつなぐ地域公共交通とは
津本裕子議員
(市議会公明党)

実践的な人権教育とは

質問 ①小・中学校で成長に合ったジェンダー平等教育を実施すべきだが、現状と課題は。

②大阪市のよう、生きる教育を実施すべきだが見解は。

教育長 ①発達段階に応じて、性別に関わりなく個性と能力を尊重した人権教育を実施している。アンコンシヤス・バイアス^{※3}の知識等を深められるよう継続した啓発が必要と認識している。

②大阪市と同様に、望ましい人間関係を育成する取組や、自分や相手を尊重する態度を身につける取組を実施している。



続・地域全体で後継者支援を／朝の学校施設開放事業について
吉本ゆうすけ議員
(フォーラム小平)

続・地域全体で後継者支援を支援できる体制を目指す

質問 ①後継者不在事業者の掘り起こし、事業承継のための継続的な調査を今後、商工会等と協力して進めることへの見解は。

②弁護士等の事業承継の課題解決のため、市内の士業同士でつながる後押しをすべきでは。

市長 ①事業承継に関するアンケートを継続して実施する場合には、商工会や事業承継・引継ぎ支援センター等と連携し、協力しながら進める必要がある。

②事業承継に課題を抱える事業者の支援として、商工会等と連携し、セミナーを開催していく。



民間連携での市の魅力創りについて／鉄道駅中心のまちづくりについて
石津はるか議員
(一人会派と維新の会)

民間と連携した小平市の魅力を創るまちづくりについて

質問 ①防災の自助の備えを促すため、民間と連携した防災用品の提供や購入補助が必要では。

②公民連携の視点で、ふれあい下水道館を市の魅力発信施設として活用すべきだが見解は。

市長 ①総合防災訓練で、協定を締結している民間事業者から食品等の提供を受けるなど、自助の備えを促進する取組を行っている。さらなる自助支援で防災用品の備蓄支援等を研究する。

②指定管理者から新たな事業管理者が連携し、より多く来館する。今後もセミナーの内容等を工夫し、業種ごとの連携強化を図ることで環境を整備していく。



アスベストに対する市の取組／猛暑及び熱中症への対策
岡田しんぺい議員
(フォーラム小平)

アスベストに対する市の取組について

質問 ①十全なアスベストの調査が行われないまま解体等工事に入った事業は、これまで存在するか。市の責任と対応は。

②アスベスト調査、除去等に対する市独自の補助への見解は。

市長 ①事前調査結果の報告が義務付けられた令和4年度以降、市に報告はない。事業が発生した際は、大气污染防治法等に基づき指導等するが、内容により警察や東京都と連携し対応する。

②個人の財産の処分に関するものであり、法律の義務付けがあるため補助創設の考えはない。



長期休業中のこどもの居場所／選択肢を広げる読み書き支援を
外山まなみ議員
(自民党小平政和会)

長期休業中のこどもの居場所づくり

質問 ①こどもの居場所づくりの充実をどのように図るのか。

②小学4年生以上の居場所不足が指摘されているが見解は。

③命と安全の観点から酷暑におけるこどもの居場所の見解は。

市長 ①令和4年度以降、国の地方創生臨時交付金を活用し、市民及び事業者に対する省エネ型エアコン等への買換え補助事業を毎年度実施してきた。今後も国の動向を注視し検討する。

②小平グリーンロード灯りまつりについては夜間に開催しており、熱中症リスクの低減に一定の効果を上げている。中央公園等に保健師を配置し体制を整えている。



都市農業の振興によるまちづくり推進／用水路の保全と活用
鈴木洋一議員
(自民党小平政和会)

都市農業の振興によるまちづくり推進について

質問 ①市内農地の保全と事業承継のための支援と連携は。

②物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の継続的な確保に向けた国への働きかけは。

市長 ①農地の保全は東京都の事業を活用し、農地の創出や必要な施設整備等を支援している。事業承継は、後継者の育成等に東京都等と連携して取り組む。

②一般社団法人東京都農業会議を通じ、国や東京都に農業生産資材費の高騰に対する支援を要望している。引き続き事業の継続を国に要望していく。



読み書き支援を進めるために

質問 東京都教育委員会が作成し、7月に発信した「一人ひとりに合わせた学び方の選択肢端末で広がる読み書き支援LIFT」のリーフレットを活用していくための具体的な取組は。

教育長 8月に各学校に配付した。教員を対象とした研修会等で周知し、読み書き支援に関する理解を深め、個に応じた指導の充実を図っていく。



市の用水路の保全と活用に向けた現状と課題について

質問 ①用水路への転落防止柵の設置状況や児童、高齢者の安全確保に向けた今後の方針は。

②農地の相続や売却に伴い、用水路の管理主体が不明確になると考えられるが市の対応は。

市長 ①道路を含めた公共施設に面した用水路のうち、転落の危険性が考えられる箇所に転落防止柵を設置している。今後も、引き続き対策を講じていく。

②用水路は市が管理する公共施設であるため、農地の相続等で管理状況に問題が生じないよう適切な維持管理に努める。



小平グリーンロード灯りまつりの様子